

世界かんがい施設遺産「北楯大堰」にまつわる 紙芝居を動画にして公開！！

庄内総合支庁農村計画課（プロジェクトAチーム）では、世界かんがい施設遺産「北楯大堰」にまつわる紙芝居を動画にして公開しました。

紙芝居は地元庄内町の風車村エコランド実行委員会で制作したもので、北楯大堰の開削に尽力した北館大学助利長公の偉業を後世に伝える歴史ストーリーとなっています。

より多くの方に見ていただけるよう、県民の皆様への周知について御協力くださるようお願いいたします。

【概要】

1 動画タイトル 世界かんがい施設遺産 北楯大堰 紙芝居

2 動画（紙芝居）のあらすじ

庄内の狩川城主となった北館大学助利長公（以下、「北館大学公」という。）は、使える水がなく荒れ地であった平野で、米作りができず貧乏にあえいでいた百姓を楽にさせたいと、約10年の歳月をかけて調査を行い、立谷沢川から取水する計画を立て、主君最上義光公から着工の許可を得ます。

工事は昼夜を問わず1日約7400人の大部隊で行われ、大岩石の崩落や渦巻きながら流れる最上川の淵への堰台づくりなど、難工事が立ちはだかりますが、北館大学公は命がけの苦勞の末、1612年（慶長17年）に北楯大堰を完成させました。

北楯大堰からの潤沢な水は、荒れ地であった平野を6600町歩（ha）の大穀倉地帯へと変えました。（動画時間16分30秒）



主君に必死の願いをする
北館大学助利長公



最上川を鎮めようとする
北館大学助利長公

3 企画・制作者

紙芝居制作 風車村エコランド実行委員会

動画制作 庄内総合支庁農村計画課 プロジェクトAチーム

4 動画公開日

令和6年1月23日（火）

5 公開URL

山形県HP『庄内農村整備のいまがわかるN. N. REIKO』
動画チャンネル わんだふる

[https://www.pref.yamagata.jp/337046/sangyo/
nourinsuisangyou/nogyo/nosangyoson/nnreiko/douga.html](https://www.pref.yamagata.jp/337046/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nosangyoson/nnreiko/douga.html)

Facebook『山形県庄内総合支庁』

<https://www.facebook.com/watch/?v=724401653089012>

YouTube やまがた Channel

<https://www.youtube.com/watch?v=LTHadpTMBys>



6 世界かんがい施設遺産に関する補足情報

- (1) 世界かんがい施設遺産は、築造から100年以上経過した施設で、農業のみならず地域への社会貢献度が高い農業水利施設（ダム、頭首工、水路など）を、各国審査を経て国際かんがい排水委員会が登録する制度です。
- (2) 国際かんがい排水委員会には81カ国・地域が加盟しており、世界かんがい施設遺産の登録施設数は世界で161施設（令和5年度まで）、日本国内では51施設です。世界では、中国を代表する棚田である紫鵠界（しじゃくかい）棚田、国内では、通潤橋が有名な熊本県の通潤用水などが登録されています。山形県では、北楯大堰に次ぐ2例目として、山形五堰（山形市）が令和5年11月に登録されました。
- (3) 北楯大堰は、平成30年8月にカナダで開催された国際かんがい排水委員会で登録された山形県ではじめての施設です。登録された区間は、一級河川立谷沢川にある北楯頭首工から庄内町狩川に位置する二俣分水工までの北楯大堰用水路4.9kmです。
- (4) 北楯大堰の所有者は農林水産省で、管理者は山形県、使用者は最上川土地改良区です。
- (5) 北楯大堰が世界かんがい施設遺産に登録されて以降、14名のまち歩きガイドが年間23グループ約400人を案内しており、今後も観光客を増やしていきたいと考えています。

7 プロジェクトAチームとは

山形県が実施する農業農村整備事業を広く一般にPRし、事業理解の促進と地域の元気を創出することを目的に、庄内総合支庁農村計画課の職員11名で構成する広報チームです。Aはアカウントビリティ（説明責任）の頭文字です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



担当：農村計画課
課長補佐 菅野 理佐
電話：0235-66-5545